

令和4年度 シラバス

教科	地理歴史	科目	世界史探究	単位数	2	履修学年	2	学科・コース	普通科																				
教科書	世界史探究（東京書籍）			副教材等	グローバルワイド最新世界史図表			担当者	尾村																				
1. 科目の目標				2. 学習の進め方や留意点			3. 評価の観点と函中コンピテンシー																						
社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 そのため、特に次のことに留意する。 ①地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解する。 ②諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に理解する技能を身につける。 ②概念を活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、効果的に説明したり、議論したりする力を養う。 ③歴史的意義、時期、推移、比較、相互関連、現在とのつながりに着目させる。 ④よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養う。				・世界の中の日本を意識し、関連付けるよう心掛ける。 ・歴史的事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目する力を身につけ、考察し、表現する。 ・日々の振り返りを通じて、自己の学習が効果的か否か、メタ認知する力を身につけるため、振り返りを行う。 ・ノートやプリントを使った学習を通じて、自己の学習が効果的か否か、検証しながら傾聴力を身につける。 ・協働的な学習を通じて、主体的によりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究する活動を行う。そのためコミュニケーションスキルを身につけ、協働力を養う。 ・獲得した概念を通じて、歴史的事象を考察し、また現在の社会につながる課題を歴史的に考察することで、先見力を身に付ける。			<table><tr><td></td><td>知識・技能</td><td>思考・判断・表現</td><td>主体的な態度</td></tr><tr><td>傾聴力</td><td>○</td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>思考力</td><td>○</td><td>○</td><td></td></tr><tr><td>協働力</td><td></td><td></td><td>○</td></tr><tr><td>先見力</td><td></td><td>○</td><td></td></tr></table>				知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度	傾聴力	○		○	思考力	○	○		協働力			○	先見力		○	
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的な態度																										
傾聴力	○		○																										
思考力	○	○																											
協働力			○																										
先見力		○																											

4. 学習計画と評価規準

月	単元・学習内容	時間	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	第1章古代文明の出現	4	古代文明の歴史的特質を理解する。	自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義,文明間比較と接触による変化などを考察し、表現する。	
5,6	第2章西アジアと地中海世界 周辺	10	地中海周辺の諸国家、アテネ民主制の成立と発展、キリスト教の成立とその国家形成について理解する。	国家の政策のあり方,民主制の成立,ローマ帝国の影響などを考察し、表現する。	日々の学習活動を、自ら振り返ることで、効果的な学習方法を身につける。 【前期中間考査・振り返りシート・日常の活動によるワークシート】
7,8	第3章南アジア世界 第4章東アジア世界	4	仏教の成立とヒンドゥー教、秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解する。	宗教の比較と社会体制に与える影響、専制君主制の特質比較、統治体制と社会や文化の特色、近隣諸国との関係などを考察し、表現する。	
9	第5章東アジアと中央ユーラシア 第6章アフリカ・オセアニア・古アメリカ	6	文明の周辺地域における他文明の影響、距離がある地域の文明の特質を理解する。 諸国家の社会や文化の特色を理解する。	遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係,周辺地域の文明発展要因を、他文明との交流や交易を元にするなどして考察し、表現する。	【前期期末考査・振り返りシート・日常の活動によるワークシート】
10	第7章イスラーム世界の拡大と繁栄 第8章中世ヨーロッパ	6	イスラームを基盤とした国家の特徴ヨーロッパ封建社会とその展開を理解する。	イスラームの宗教,社会構造,文化をキリスト教と比較し、表現する。	

11	第9章中華世界の変容とモンゴル帝国	5	宋の社会とモンゴル帝国の拡大などを基に，海域と内陸にわたる諸地域の交流の広がりを理解する。 スペインとポルトガルの活動などを基に，諸地域の交易の進展とヨーロッパの進出を理解する。	ヨーロッパと中国の比較、皇帝の名称・農耕技術の発達・経済や社会について、考察して表現する。	【後期中間考査・振り返りシート・日常の活動によるワークシート】
12	第10章インド洋海域世界の発展と東南アジア 第11章大交易時代と世界の一体化	4	西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を理解する。	商業の発達による社会構造の変化や、モンゴル帝国の統治の工夫や文化交流など,世界の一体化につながる変化を考察して表現する。 ヨーロッパの進出による変化,影響を考察して表現する。	
1,2	第12章ユーラシア諸帝国の繁栄	7	西アジアや南アジアの諸帝国，清と日本・朝鮮などの動向を基に，アジア諸地域の特質を理解する。	明とイスラーム帝国の社会構造の特徴を比較し,考察して表現する。	
2,3	第13章主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大	6	宗教改革とヨーロッパ諸国の抗争，大西洋三角貿易の展開，科学革命と啓蒙思想などを基に，主権国家体制の形成と地球規模での交易の拡大を理解する。	宗教改革による宗教戦争と,大西洋三角貿易の展開によるヨーロッパ・アメリカ・アフリカの影響を表現する。	【後期期末考査・振り返りシート・日常の活動によるワークシート】